



# 全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発効日 2018年4月23日

発行NO 2018 - 9号

## 4月17日、TPP11協定承認案が衆議院で審議入り

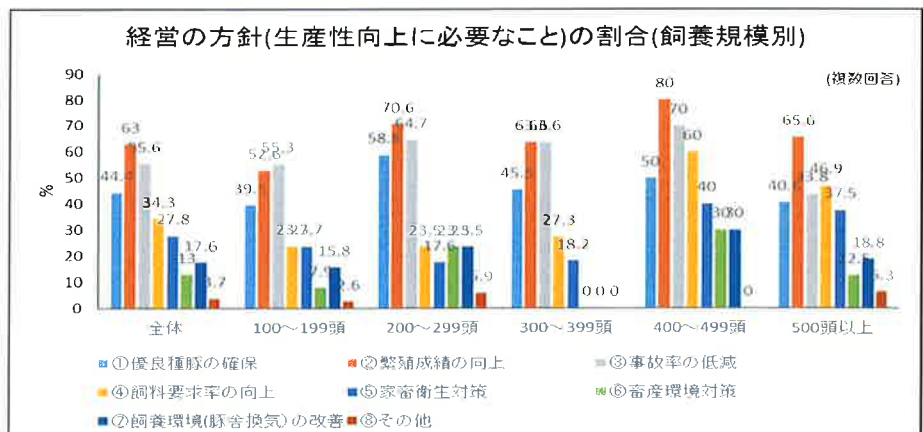
- 4月17日、TPP11協定の承認案が衆議院本会議で審議入りしました。TPP11の国会審議は、協定承認案を外務委員会で、関連法案を内閣委員会でそれぞれ分けて審議する模様です。政府はこれまで準備を主導してきた日本がTPP11協定をいち早く成立させ発効に向けた全体の機運を高めていきたいと表明しています。
- 関連対策として法制化した「牛マルキン」および「豚マルキン」について、補填率の引上げや、国庫負担水準の引き上げ施策の実効について、しっかりと見守る必要があります。

### 全日畜コーナー

#### ○ ALIC事業の「養豚農業実態調査」について報告書が完成

・全日畜は、平成29年度はじめてALIC事業の本格的な調査事業に参加しました。事業では1年間を通して養豚経営の実態調査と優良事例調査を実施しました。29年度の調査は、養豚主産県の中から鹿児島県、宮崎県、千葉県、群馬県、青森県の5県を調査対象として、アンケート調査による108経営体への実態把握調査と、直接面談による5経営体の優良事例調査を実施しました。

・調査では、生産性の向上に必要なこととして、「繁殖成績の向上」と「事故率の低減」が高率で集約。良質な豚肉生産には「優良種豚の導入」と「良質な飼料・飼料資源の確保」が高率で集約される等、145ページに及ぶ調査報告書となっております。HPの「資料室」で公表中です。是非ご覧ください。



### 全日畜からのお知らせ (全日畜ホームページに「資料室」を開設)

- 全日畜は、ホームページを開設して、全日畜の諸活動等の情報発信に努めておりますが、今回、全日畜の会報や活動成果を取りまとめたレポート等の閲覧サービスを充実させるために、ホームページのサイトに「資料室」を開設しました。
- 開設した「資料室」には、会報「全日畜だより」や全日畜の活動で作成したレポート(調査報告書、畜産経営者交流会レポート、畜産情報レポート等)を掲載しています。畜産経営者のみなさんの参考資料としてどうぞご活用下さい。

#### [直近の掲載資料]

- ☆ 全日畜だより
  - ・第9号 H30年4月23日発行
- ☆ 事業報告書
  - ・H29ALIC事業報告書
  - 「養豚農業実態調査」
- ☆ 畜産情報
  - ・飼料穀物情報 (4月)
  - ・畜産物価格情報 (4月)

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

全日畜が、6月14日（木）に、都内港区（会場：ホテル アジュール竹芝）で、  
「第10回定時社員総会」と 総会記念「全日畜セミナー」を開催します

○ 「第10回 定時社員総会」の開催について

平成21年度に、畜種横断の畜産経営者団体として誕生した「全日畜」も、今年度で10周年の節目の年を迎えました。畜産経営者を取巻く環境は、国際的な農畜産物の自由貿易交渉が急速に進展するなど、日本の畜産業が安定した産業として継続できるか大変心配な状況にあります。こうした中、第10回の定時社員総会を招集して、全国から参加する社員の皆さんと、じっくり議論をしたいと考えております。

- 1 開催日 平成30年6月14日（木）  
第10回 全日畜定時社員総会 13:00 ～ 14:45 （13階 飛鳥の間）  
総会記念 全日畜セミナー 15:00 ～ 17:00 （13階 飛鳥の間）
- 2 会場 ホテル アジュール竹芝  
〒105-0022 東京都港区海岸 1-11-2 TEL 03-3437-2011

○ 総会記念「全日畜セミナー」の開催について

今年度の総会記念「全日畜セミナー」は、10周年の節目を迎えたことを記念して、「元氣」をもらえる講演企画としました。講師に、長く畜産行政に携わり、全国の生産現場を知り尽くしていて、退官後も複数の主要な畜産団体に要職を務められた、（公社）畜産技術協会 会長の南波利昭氏をお迎えすることとしています。



講師 南波利昭氏

演題 努力すれば報われる「畜産」  
サブタイトル （キーワードは「技術」）

※「全日畜セミナー」は入場無料で一般の方でも参加できます。

○ 総会開催に向けた今後の予定等について

- ・ H30年5月8日（火） H30年度 第1回運営委員会
- ・ H30年5月17日（木） H30年度 第1回理事会
- ・ H30年5月21日（月） H30年度 第1回地域全日畜等事務局長会議

※機関会議を開催して29年度の活動を総点検しさらに活発な30年度事業計画を構築して6月の定時社員総会に臨みます。

工業会・全日基コーナー

○ 工業会の「JGAP指導員基礎研修」からの報告

工業会が、2回にわたって開催した「JGAP指導員基礎研修」は、全国から計68名（第1回が33名、第2回が35名）の研修生が参加して開講されました。

ワークショップの設定では、初対面の参加者でグループを編成し、グループ協議課題を討議して、グループ代表が発表する等、大変活発な研修でした。

○ 全日基による価格補てんの状況と見通しについて

全日基は、平成29年度の第4四半期（H30年1月から3月）における補てん発動について、「補填なしで確定」と報告しました。また、平成30年度の第1四半期（H30年4月から6月）における補てん発動の予測として、「発動の可能性は低い」と報告しました。

- ①原料価格 とうもろこし、大豆油粕の輸入価格（通関価格）は、低下傾向で推移。
- ②為替レート 2月以降円高がさらに進展。
- ③フレートの動向 海上運賃は、上昇傾向で推移。



（写真上）  
研修会場の様子



（写真左）  
講師の朝日 光久マ  
ネージャー

（文中での団体の略称標記について）

- ・ 一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・ 一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・ 協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・ 一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）